

Stripe、「AI 時代の決済インフラ」ブランドキャンペーンを開始 ～屋外や SNS をはじめとした広告施策を 9 月より展開～



Stripe は 2026 年 9 月 14 日 (月)より、「AI 時代の決済インフラ (Payment Infrastructure for the AI Era)」をテーマとするブランドキャンペーンを日本市場向けに開始しました。JR 東日本山手線 (以下、山手線) 車両ラッピング広告をはじめとする交通広告・屋外広告を都内主要交通網において展開するとともに、新聞・動画配信サービス・SNS 広告を組み合わせた広範な展開を実施します。

Stripe は日本でのサービス開始から 10 年以上にわたり、大手企業からスタートアップまで、国内外で事業を展開する多様な企業の決済インフラを支えて参りました。本キャンペーンは、日本市場への継続的な投資の一環として、Stripe が日本企業の事業成長において担う役割をより広く届けることを目的としています。

キャンペーンテーマ「AI 時代の決済インフラ」について

AI が産業構造を大きく変えようとしている今、決済インフラの選択は単なる支払いに関わる課題ではなく、事業成長の方向性を左右する経営判断となっています。Stripe はグローバルな実績に裏付けられた信頼性・安定性と、AI 時代のビジネスに対応した機能を兼ね備えた決済インフラを提供しており、引き続き日本企業の成長を支えてまいります。

キャンペーン展開概要

本キャンペーンは2026年12月末まで実施いたします。

- 交通広告・屋外広告:
山手線ラッピング広告、東京メトロビジョン、品川駅・東京駅周辺の屋外広告、エレベーター広告、タクシー広告を実施
- メディア・デジタル広告:
YouTube・TVer・Prime Video Adsなどの動画配信サービス、日本経済新聞（紙面・デジタル）、XのSNS広告を組み合わせで展開

ストライプジャパン株式会社 代表取締役 平賀充は次のように述べています。

「Stripe が日本でサービスの提供を開始してからお陰様で10年が経ちました。この間、多くの企業がStripeの決済インフラを活用して新しいビジネスを立ち上げ、事業を国内外へと広げてきました。AIが産業の在り方を根本から変えようとしている今、決済インフラは事業成長の重要な基盤になると確信しております。今回のキャンペーンを通じて、Stripeが日本市場において皆様の信頼できるパートナーとしてより多くの方々に知っていただくとともに、日本への継続的な投資を続けてまいります。」

#####

Stripeについて

Stripeは、プログラマブルな金融サービスを構築する企業です。世界の何百万もの企業がStripeを利用して、オンラインおよび対面での決済や組込型金融、収益モデルのカスタマイズを推進し、より収益性の高いビジネスを築いています。サンフランシスコとダブリンに本社を置くStripeは、世界のGDPの1.6%に相当する年間1.9兆ドル(約300兆円)以上の決済を処理しています。AIとステーブルコインにフォーカスを置いた事業拡大と研究開発への投資を通じて、Stripeはグローバル経済における最先端技術の普及に貢献しています。

詳しくは <https://stripe.com/jp> をご覧ください。